

# 第21回佐賀県総合教育会議

## 議 題

### <意見交換> 大規模校と小規模校について



さがデザイン  
さがをかえる しぐみを考える

令和3年11月16日

## 意見交換

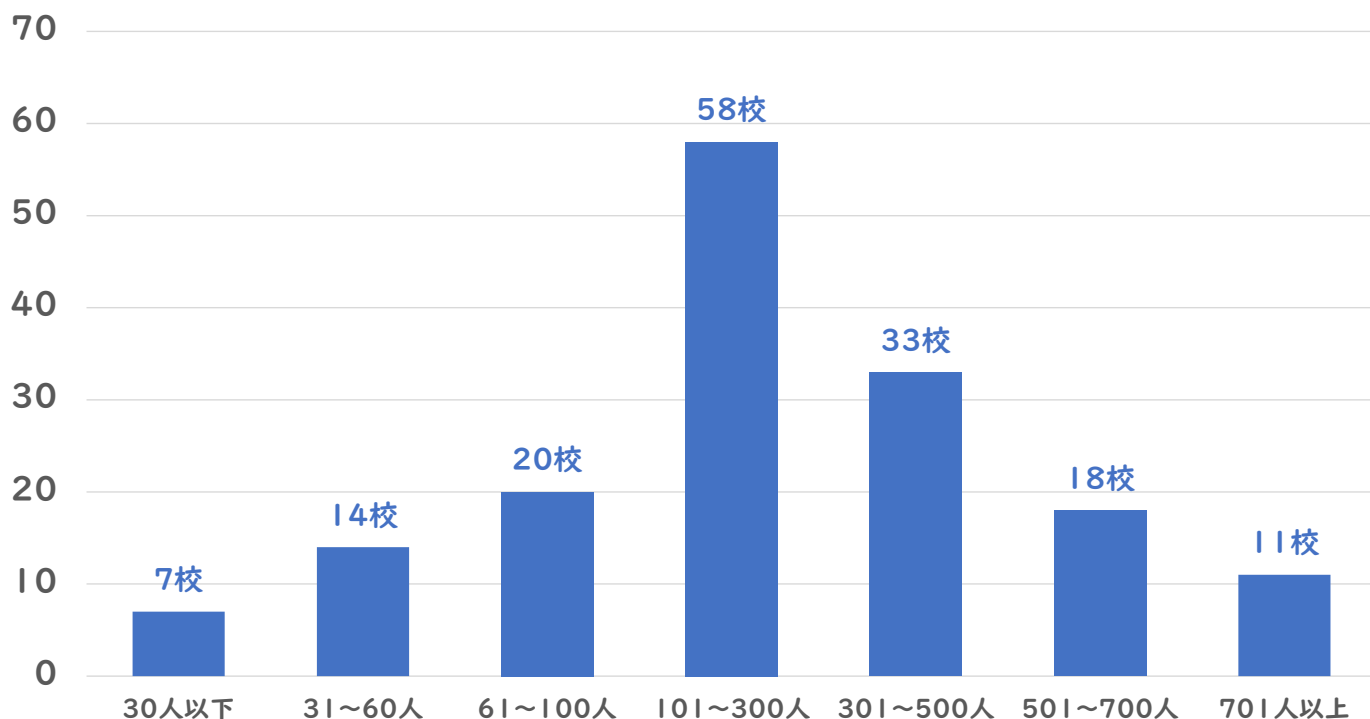
### <テーマ>

#### ◎大規模校と小規模校について

- ・ 学校規模は、教育活動や特色ある学校づくりに影響を与える要素の一つ
- ・ 大規模校と小規模校の現状を共有した上で、それぞれの環境を生かした子ども達の教育について意見交換

## 県内の小学校の規模

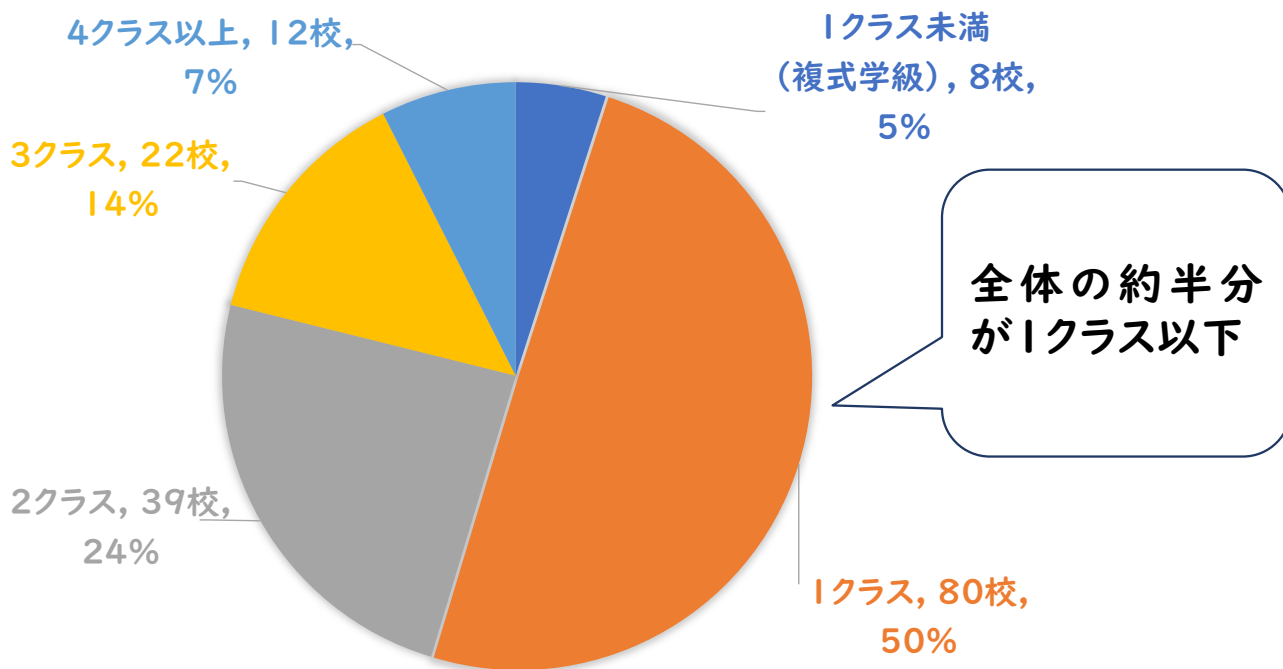
県内の小学校数（児童数別）  
（小学校155校 義務教育学校6校）



3

## 県内の小学校の規模

第1学年のクラス数  
（小学校155校 義務教育学校6校）

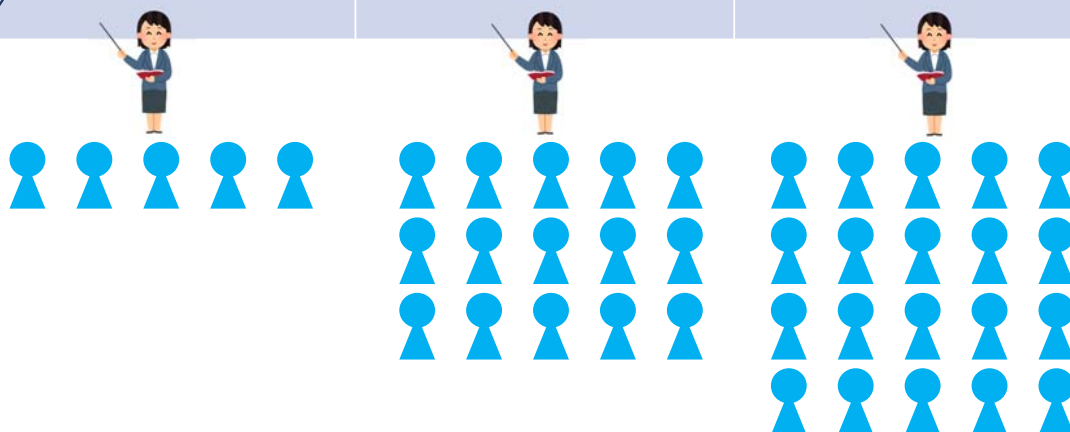


4

## 具体的な学校規模のモデル

	A小学校（小規模校）	B小学校（小規模校）	C小学校（大規模校）
クラス数	1学年1クラス	1学年1クラス	1学年4クラス
1クラスの人気	10人	30人	35人
職員数（校長、教頭、養護、事務を含む）	12人	12人	42人
児童数	60人	180人	840人
職員一人当たりの児童数	5人	15人	20人

※小中学校の職員数は**学級数**に応じて決定する。  
（高校は生徒数）



5

## 小規模校と大規模校のメリット

	小規模校	大規模校
学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人に職員の目が行き渡り、個に応じたきめ細かな指導がしやすい。 （1クラス当たりの児童数が少ないほどその傾向が強まる。）</li> <li>児童が意見や感想を発表できる等、個別の活動の機会を設定しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人数の中で、多様な物の見方や考え方、表現の仕方にふれることができる。</li> <li>個人やグループで課題解決をする学習では、個人やグループの数に応じて、複数の課題を設定することができる。</li> </ul>
人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童相互や児童と職員の間が一体感が生まれやすく、人間関係が深まりやすい。</li> <li>異なる学年間の縦の交流が設定しやすく、児童の社会性を育む活動が行いやすい。</li> <li>一人一人の出番が多く、主役となって活躍する機会が多くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス替え等で、人間関係が固定されにくく、幅広い人間関係を築きやすい。</li> <li>大人数の中で切磋琢磨することで、社会性や協調性、たくましさ等が育まれやすい面がある。</li> <li>教員数が増えるため、様々な視点から児童生徒と関わるができる。</li> </ul>

6

## 小規模校と大規模校のメリット

	小規模校	大規模校
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の施設にゆとりがあり、広々と使え、けが等が少ない。</li> <li>・学校規模が小さいため、地域と協力して行事を展開しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等に活気が生じやすい。</li> <li>・人数が多いため、幅広い活動を行うことができる。</li> </ul>
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数が少ないので、情報共有が図りやすく、迅速な対応がしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人当たりの校務の役割分担が軽減される。</li> </ul>

7

## 小規模校での取組（唐津市立高島小学校）

○2021年、島留学児童受入れ開始

○児童数8名に対し教職員数11名在籍  
1人1人の子どもの状況に応じた対応が可能

**小規模を個性として生かした取組**

令和3年度版

海よし、山よし、空よし、人よし

松浦の海の潮風ぐ丘に

学びの舎

唐津市立 高島小学校

〒847-0027 佐賀県唐津市高島 188 番地  
TEL : 0955・72・4387 / FAX : 0955・72・4391  
Mail : takashima-e@education.saga.jp

8